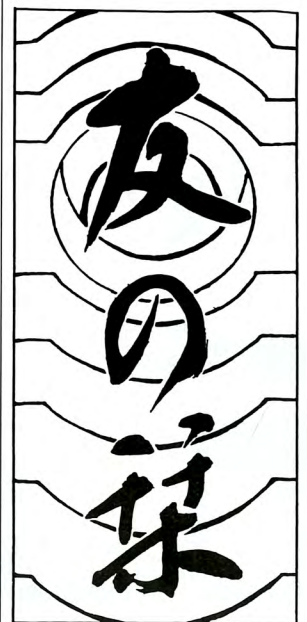


# 躍動! 歓声は今も母校に響く

～春季体育大会より～  
(H28.4.22)



## 会報第60号

宮城県宮城第一高等学校同窓会  
会長 工 藤 千鶴子

所在地 仙台市青葉区八幡一丁目6番2号

電話・FAX 022(261)7855(同窓会専用)

E-mail miyaldotsoukai@yahoo.co.jp

振替 02290-2-5964

同窓会会報編集委員会

印刷 仙台市青葉区春日町8番34号

創文印刷出版株式会社

今春の人事異動により、宮城県古川黎明高等学校から着任いたしました。よろしくお願い申し上げます。会員の皆様には、日頃より母校に對しまして、ご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、共学から九年、全校生徒八百四十名中、男子は百三十一名となりました。学校生活全般において、男女が互いに協力、切磋琢磨



## 生徒一人ひとりが輝く学校をめざして

校長 庄子 英利

明治三十年開校の県内屈指の伝統校として、今後とも本校の「自主自律」の校風を引き継いでまいります。終わりに、会員の皆様には、今後とも変わらぬご支援とご理解をお願い申し上げますとともに、同窓会の益々のご発展と皆様のご健勝を祈念して、ご挨拶いたします。



## 身近にある歴史

同窓会会長 工 藤 千鶴子

八月二十七日母校の秋桜祭(文化祭)があり、高校生と一緒に同窓会も参加しました。

注目は明治大正期の卒業証書ですが、氏名の前に、宮城県士族○○、あるいは平民○○とあります。身分制度の表記を目の当たりにして、そんな時代があったのだと、改めて驚きます。同窓会では会員の親睦の場であると共に、学校の伝統や歴史を伝えていく場でもあると思います。

さて、母校は来年初創立百二十周年を迎えます。男

(高17回)





歓 談

## 平成28年度 同窓会総会

# ふたたび集い、母校の歴史を紡ぐ

9月3日土曜日、平成28年度同窓会総会が仙台国際ホテルにて開催されました。

来賓20名を含む156名のご参加をいただき、残暑の厳しさも吹き飛ばす盛会となりました。



同窓会石巻支部長の阿部登喜子さん(高21回)のご発声で乾杯、会食となりました。恩師を囲み思い出話に花を咲かせ、また、久しぶりに会う友と近況を報告しあう姿などが会場のあちこちで見受けられました。そして、先生方から寄せられた返信はがきのメッセージを集めたメッセージ集も各テーブルに添えられ、思い出話に花を咲かせる一助となりました。また、宮一



懐かしの校歌斉唱

### 再会を喜び、会食・歓談のひととき

社会保険労務士、通称社労士がどのような仕事をしているのか、ご自身が経験したエピソードを交えながら、興味深い、そして漠然としか知らなかった社労士という仕事の一端を垣間見ることができた講演となりました。

講演の後、本科四十一回から高六回までの先輩方にいつまでもお元気でという気持ちを含めて花束の贈呈がありました。潑刺と、素敵に年を重ねられている先輩方のお姿に和やかな雰囲気包まれた瞬間でした。

上映があり、現在の宮一高の様子を映像で知ることができました。

### 母校の思いを胸に校歌斉唱

名残惜しくも閉会の時間となり、出席者全員で校歌斉唱、しっとりとしみわたる歌声に会場が一体となった瞬間でした。最後に、多賀野千鶴さん(高35回)より閉会の挨拶をいただき今年度の同窓会総会は盛会のうちに幕を閉じました。世代や卒業後の歩みは違っても、同窓という絆の強さと深さをあらためて感じ、高校時代がいつい昨日のことにように思い起こされる友との語らい、時の経つのが本当にあつという間の総会でした。



総会準備委員長の開会挨拶

総会は浅黄真紀子さん(高45回)の司会で進められました。はじめに、総会準備委員長の高田紀子さん(高45回)の開会の挨拶の後、同窓会会長の工藤千鶴子さん(高17回)が今年度同窓会新役員の紹介、そして、今回は昭和十四年卒の本科四十一回生から平成六年卒の高四十六回生までと五十五年にわたる幅広い年代から出席いただいたことに感謝を述べられました。また、先で行われた文化祭(秋桜祭)では同窓会ブースを設け、明治三十六年卒(本5回生)の卒業証書から近年の卒業アルバムなどを展示、来年開校百二十周年を迎える母校の歴史を感じつつ、学校の歴史を伝えるのも同窓会の大きな役割の一つであると実感したとお

### 労務のスキマ お埋めします

続いて、「おんな社労士の事件ファイル」労働のスキマ、お埋めします」と題して沼口郁子さん(高45回)による講演が行われました。

話されました。その後、この一年で亡くなられた先生方、および同窓生の方々に黙祷をささげました。次に今年度から母校校長となられた庄子英利校長より、初体験された宮城一高三大行事ともいべき、体育祭、秋桜祭、歌合戦を通じて純真で男女お互いが助け合い認め合いながら相手の気持ちを思いやることのできる宮城一高の生徒たちは本当に素晴らしいと現在の母校の様子をお話しいただきました。

その後、来賓の紹介に続き、総会議事では牛坂律子さん(高23回)が議長を務め、平成二十七年行事報告、会計決算報告及び監査報告、平成二十八年度行事予定案、会計予算案についての協議が行われ、全議案が拍手をもって承認されました。

その後、来賓の紹介に続き、総会議事では牛坂律子さん(高23回)が議長を務め、平成二十七年行事報告、会計決算報告及び監査報告、平成二十八年度行事予定案、会計予算案についての協議が行われ、全議案が拍手をもって承認されました。

## 平成27年度 宮城県宮城第一高等学校同窓会会計決算書

| 【1】基本金 収入 (単位:円) |            |            |     |   |       |
|------------------|------------|------------|-----|---|-------|
| 科目               | 予算         | 決算         | 増   | 減 | 摘要    |
| 繰越               | 12,689,111 | 12,689,111 | 0   | 0 | 定期預金等 |
| 経常費より繰入          | 0          | 0          | 0   | 0 |       |
| 雑収入              | 10,889     | 11,093     | 204 | 0 | 利子等   |
| 合計               | 12,700,000 | 12,700,204 | 204 |   |       |

| 支出 (単位:円) |            |            |         |         |    |
|-----------|------------|------------|---------|---------|----|
| 科目        | 予算         | 決算         | 増       | 減       | 摘要 |
| 経常費へ繰入    | 600,000    | 0          |         | 600,000 |    |
| 次年度へ繰越    | 12,100,000 | 12,700,204 | 600,204 |         |    |
| 合計        | 12,700,000 | 12,700,204 | 204     |         |    |

<別途> 東北電力株 864株(平成28年3月31日現在評価額1,254,528円)  
前納分会費 3,100,651(郵便 払込取扱票)

| 【2】経常費 収入 (単位:円) |           |           |           |         |                         |
|------------------|-----------|-----------|-----------|---------|-------------------------|
| 科目               | 予算        | 決算        | 増         | 減       | 摘要                      |
| 繰越               | 117,028   | 117,028   | 0         | 0       |                         |
| 会費               | 504,000   | 505,600   | 1,600     |         | 200円×延べ2,528名           |
| 新入会費             | 280,000   | 283,000   | 3,000     |         | 1,000円×283名(出27年度卒68回生) |
| 同窓会費             | 3,326,000 | 5,989,101 | 2,663,101 |         | 1,000円/名×延べ5,990名       |
| 基本金より繰入          | 600,000   | 0         |           | 600,000 |                         |
| 雑収入              | 12,972    | 16,907    | 3,935     |         | 利子、配当金等                 |
| 合計               | 4,840,000 | 6,911,636 | 2,071,636 |         |                         |

| 支出 (単位:円) |           |           |         |         |                       |
|-----------|-----------|-----------|---------|---------|-----------------------|
| 科目        | 予算        | 決算        | 増       | 減       | 摘要                    |
| 1.事業費     | 2,590,000 | 2,729,336 | 139,336 |         |                       |
| 1)総会諸経費   | 700,000   | 741,906   | 41,906  |         | 印刷・送付費用・接待費等          |
| 2)会報発行費   | 1,500,000 | 1,635,767 | 135,767 |         | 会議費・印刷費・発送費等          |
| 3)会議費     | 150,000   | 108,151   |         | 41,849  | 常任幹事会・幹事会・運営委員会等(含監査) |
| 4)現学費     | 240,000   | 243,512   | 3,512   |         | 学友会補助費・卒業証書ホルダー       |
| 2.事務経費    | 1,650,000 | 1,624,612 |         | 25,388  |                       |
| 1)人件費     | 1,050,000 | 972,000   |         | 78,000  | 事務員給与                 |
| 2)旅費      | 150,000   | 239,360   | 89,360  |         | 支部総会出張旅費              |
| 3)慶弔費     | 150,000   | 202,192   | 52,192  |         | 祝儀・慶弔・香典・電報           |
| 4)通信費     | 70,000    | 73,919    | 3,919   |         | 電話料金等                 |
| 5)備品費     | 100,000   | 54,113    |         | 45,887  | テプラ・電気ポット等            |
| 6)消耗品費    | 50,000    | 51,098    | 1,098   |         | 事務用品・灯油代等             |
| 7)資料整備費   | 30,000    | 28,080    |         | 1,920   | 友の果製本代・卒業アルバム代        |
| 8)雑費      | 50,000    | 3,850     |         | 46,150  | 校章チャーム、学校メモ           |
| 3.基本金へ繰入  | 0         | 0         | 0       | 0       |                       |
| 4.予備費     | 600,000   | 43,200    |         | 556,800 | パソコンメンテナンス代           |
| 合計        | 4,840,000 | 4,397,148 |         | 442,852 |                       |

差引残高 <収入>6,911,636- <支出>4,397,148=2,514,488  
2,514,488円 平成28年度に繰越

## 出席された先生にインタビュー



吉田裕亮先生  
(保健体育)

「今は主夫とじーちゃんをやっています」という吉田先生。会の間も、先生の周りには明るい笑い声が絶えません。

「一女高の思い出を伺うと、全ての学校行事を生徒と一緒に楽しめました。良い生徒に恵まれて幸せな日々を過ごさせてくださいました」とお話しくださいました。

二年前に退職され、現在は家事をしたりお孫さんのお世話をしたり過ごしているそうです。

教員時代にお忙しかつたことを、お孫さんに下げていらつしやいました。



浅野信廣先生  
(国語)

当時の思い出をお聞きしたところ、進取の気性に富む個性がある生徒たちが、賢くて切り替えが早いので遊びに部活、勉強、行事、何にでもがっばっていったとおっしゃっていました。

平成二年から四年までの三年間、一年八組の担任をしていましたが、わかやうすいように、どの学年でも八組の担任だったそうです。

司会の浅黄さんが「焼き芋がでなかったんです。広瀬川で焼き芋を集めて」と先生が落ち葉を集めて待っていてくれたのに、私たちが場所を間違えて、

と心残りのエピソードを教えてくださいました。浅野ジュントル先生は優しい笑顔でうん、うん、とうなずいていました。

ご出席の先生方  
(順不同・敬称略)

客員(旧職員)

|       |       |
|-------|-------|
| 浅野 悟  | 浅野 信廣 |
| 石上 正敏 | 牛坂 律子 |
| 小山喜三郎 | 金野 和男 |
| 澤田 可知 | 東海林弘子 |
| 中川義二郎 | 早坂 美穂 |
| 原田 夏子 | 吉田 裕亮 |
| 渡邊 宗郎 |       |

特別会員(現職員)

|       |       |
|-------|-------|
| 庄子 英利 | 御代 力夫 |
| 石澤 浩二 | 井上 文子 |
| 島倉 透子 | 穀田 恵子 |
| 西澤 朋子 |       |

## 出席された同窓生にインタビュー



黒田玲子さん  
(本44回)

今年九十一歳になられた黒田さん。「総会当番だった創立八十周年の時は、現校舎がある八幡の体育館で総会を行いました。総会を行う場所としてホテルがいいのではないかとという声があがり、ホテルで行うようになったのがいい思い出です。本日もこうして仙台国際ホテルで親交を温め、あう場に出来ました。身体に気を付けて来年も参加するのが楽しみです」と微笑んでいらつしやいました。



田中美樹さん  
(高46回)

今回が初参加の田中さん。熱気溢れる会場の中、大先輩方が潑刺とご歓談なされている様子に感嘆しておられました。母校創立百二十周年にあたる来年度の係当番学年ということで「盛大な会にしたいという意気込みと同時に、責任の重さも感じています。先輩方はもちろんのこと、若い方々にも多く参加していただき、次世代へ伝統をつないでいけたらと思います」と話してくださいました。

総会準備委員長の声

懐かしい母校に足を運び、たくさんの先輩方とお会いする中で、同窓会の温かさや伝統に触れることが出来ました。振り返るとこの一年間は、先輩方への感謝の気持ちに溢れていました。そう感じています。すく、準備を進め、総会を迎えましたが、来賓の先生方や多くの先輩方、同級生との時間は私たちにとてもかけがえのないものとなりました。このような機会をいただくことに感謝いたします。

総会準備委員

## 講演 「おんな社労士の事件ファイル」 ～労務のスキマ、お埋めします～

今回、歴史ある同窓会総会で、講演をさせていただきます。

皆さんは社会保険労務士や、行政書士という仕事をご存じでしょうか。社会保険労務士は、会社の社会保険や雇用保険の手続きをしたり、会社のルールを作るお手伝いをしたり、労務トラブルの芽を摘んだりする「働くことに関するプロフェッショナル」。行政書士は、事業を行うための許可をとるお手伝いをしたり、遺言や離婚・相続時の協議書を作成する「目的を叶えるための書類を作るプロフェッショナル」。

どちらも、暮らしに密着した法律に関わり困りごとに寄り添う、もっとも身近なアドバイザーであり、とても地味な仕事ですが、人間臭いドラマにあふれた面白い仕事です。

今回は、そんななかでも特に印象深い事件をご紹介しますながら、働くとはどういうことかを、法律、経営者、労働者のそれぞれの立場から考えて、皆がより幸せに働くとはどういうことか、どうすればいいかを皆さんにも投げかけてみました。

働くことは、人間関係や将来性、やりがいなど、さまざまな要素が絡み合っています。法律が全てを解決するわけではありませんが、解決の糸口はやはり、法的に整理をしていくことで見つかることも多いです。

お困りのことがありましたら、是非、宮城県社会保険労務士会、宮城県行政書士会にご相談ください。また、市役所、区役所、役場などで定期的に無料相談を行っていますので、お気軽にご相談いただければと思います。



沼口郁子さん







## 母校訪問

### 思い出の風景

母校を想う時、まず何を思い浮かべますか。  
思い出の風景は、今はどのようになっているのでしょうか。  
現在の写真と共に、案内します。



#### 天体観測室ドーム

昭和三十七年（一九六二年）に、地学部天文班が学生科学賞に入選したことが発端となり、長い年月を経て、昭和五十四年（一九七九年）に竣工されました。設置された望遠鏡は、当時としては、かなり性能の高いものだったそうです。

現在は、地学部が、春と秋に合宿形式の天体観測会で使用しています。また授業で地学を習っている生徒を主として、冬の夕方、惑星や月を観測しているそうです。



#### フーコーの振り子



北校舎一階階段下に、今でもあります！

昭和四十四年（一九六九年）鉄筋校舎に改築の際、地学担当の先生が中心になり、北海道・東北で初めて常設されました。

授業で、地球の自転の学習に、実際動かしていたこともありましたが、普段でも好奇心から触る生徒が多く、ピアノ線がよく切れてしまいました。しかし周りに囲いは作らず、それも学習の一つと、ピアノ線はハンダ付けで何回も直されていました。今でも動かすことはできるそうです。

## 会の動き

### ★新入会員

（高88回生283名）  
卒業生総数 三万一千六百三名  
クラス幹事

- 一組 草ちなつ 滝井隆之介
- 二組 谷藤 薫 水嶋 花
- 三組 清野佳照奈 名取 佑
- 四組 伊藤 航 地主有希
- 五組 沢田鞠乃 高野みなみ
- 六組 小松陽花 村上未佳
- 七組 飯田百香 渡辺千夏

### ★役員異動

今春の教職員異動によるご退職・ご栄転に伴い、石上正敏校長が顧問を、早坂美穂さん（高33回）が校内幹事を退任され、新しく庄子英利校長を顧問に、西澤朋子さん（高36回）を校内幹事にお迎えしました。また、菅野一枝さん（高22回）、我妻謙子さん（高25回）が、四月から常任幹事に就任しました。

### ★事務担当

同窓会事務局は昨年九月より南條成子さん（高24回）、本年六月より栗原和子さん（高28回）を迎えて二人体制となりました。IT化をさらに進め、皆様からの情報を得やすく、発信し

やすい環境作りに努めたいと考えております。前任者同様よろしくお願いいたします。

### ★幹事会・常任幹事会

今年度の幹事会は、久しぶりに会場を校外に移して、六月十一日（土）午後一時より三時まで東京エレクトロニホール宮城（宮城県民会館）会議室で開かれました。

例年通りの行事・会計等の協議が行われ、それぞれ提案通り可決されました。今年度は特に、来年度母校が創立百二十周年を迎えるに当たり、その記念事業の同窓会分拠出金として基本金の中から百万円を支出することが了承されました。

議事終了後、神奈川県立生命の星・地球博物館専門学芸員の広谷浩子さん（高27回）による「サルがいるからヒトがいる？」と題する講演があり、「サルの究極の目的は人類進化の解明である」と、幅広いご体験をも交えた興味深いお話を拝聴しました。

幹事会に先立ち、午前中に同じ会場で第一回常任幹事会が開かれました。

### ★支部総会

・東京支部 5月22日

#### 職員室前の廊下

入室するのに、少々緊張した職員室。  
廊下の窓側には、机がずらりと並んでいます。約五年前から、先生方が生徒達の相談や質問を受け付ける場所になっています。



#### 昇降口

一見どこも変わらないようですが、しっかり耐震補強工事がなされています。廊下には、学内掲示板用に大きなモニターがあります。



図書室前に立つ「微風」  
高34・35回生からの卒業記念品

#### 中庭

秋桜祭、新入生歓迎会、体育大会の表彰式、歌合戦の練習など、生徒達が集う居心地の良い場所。

昔は砂利だったのですが、約三十年前、創立九十周年記念事業として今のようなきれいなタイル張りに整備されました。この時、同窓会からは、水飲み場一基とベンチ六脚を寄贈しました。また、日時計は高三十七回生、パティオストーンは高三十八回生、庭園灯は高三十九回生、鐘は高四十二回生からの卒業記念品です。



#### ジャージ（運動着）



長年色は変わらず緑のまです。

理由は定かではありませんが、通称「みどジャ」と親しまれているので、緑色が受け継がれているのではないかと思います。

昭和五十二年（一九七七年）から平成二年（一九九〇年）頃まで、背中に、クラス毎にユニークな手製のワッペンをつけていました。

現在は、平成二十年（二〇〇八年）男女共学になった時にリニューアルされたものです。

いかがでしたか。

在学中は何気なく目にしていたものが、いつか懐かしむ風景になります。

久しぶりに訪れた母校は、時代の流れと共に多少変化はしていますが、当時と同じ空気を感じました。現在も、自主自律の精神で、いきいきと学校生活を過ごす生徒達。宮一精神と同様、この風景も受け継がれていくと欲しいと願っています。

### ●平成28年度 大学入試合格者数一覧（過卒者を含む）

| 大学名         |     | 人数          | 大学名 |               | 人数  | 大学名     |     | 人数 |
|-------------|-----|-------------|-----|---------------|-----|---------|-----|----|
| 大 学 名       | 人数  | 大 学 名       | 人数  | 大 学 名         | 人数  | 大 学 名   | 人数  |    |
| 北 弘 道 大 学   | 27  | 東 東 大 学     | 7   | 日 本 大 学       | 16  | 大 大 大 学 | 16  |    |
| 岩 前 手 大 学   | 21  | 芸 術 大 学     | 6   | 本 歯 科 大 学     | 2   | 大 大 大 学 | 2   |    |
| 東 城 教 育 大 学 | 18  | 医 療 大 学     | 1   | 本 生 命 科 学 大 学 | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 宮 敷 形 島 大 学 | 13  | 治 理 大 学     | 1   | 本 政 治 大 学     | 13  | 大 大 大 学 | 13  |    |
| 宇 都 宮 大 学   | 25  | 馬 場 大 学     | 1   | 日 法 大 学       | 3   | 大 大 大 学 | 3   |    |
| 群 馬 馬 場 大 学 | 3   | 健 康 協 同 大 学 | 1   | 武 蔵 野 大 学     | 3   | 大 大 大 学 | 3   |    |
| 千 葉 水 葉 大 学 | 4   | 田 代 大 学     | 1   | 武 蔵 野 大 学     | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 東 京 女 子 大 学 | 2   | 青 山 大 学     | 3   | 明 治 大 学       | 12  | 大 大 大 学 | 12  |    |
| 東 京 女 子 大 学 | 2   | 上 野 大 学     | 2   | 早 稲 大 学       | 10  | 大 大 大 学 | 10  |    |
| 新 富 士 大 学   | 2   | 板 橋 大 学     | 1   | 麻 布 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 富 士 大 学     | 5   | 学 習 院 大 学   | 1   | 聖 光 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 金 沢 大 学     | 1   | 北 北 大 学     | 10  | ワ ー ン 大 学     | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 静 岡 大 学     | 1   | 慶 應 大 学     | 4   | フ ェ ン 大 学     | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 1   | 國 立 大 学     | 3   | 京 都 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 1   | 國 立 大 学     | 3   | 立 志 大 学       | 4   | 大 大 大 学 | 4   |    |
| 京 都 大 学     | 1   | 國 立 大 学     | 11  | 阪 神 大 学       | 2   | 大 大 大 学 | 2   |    |
| 京 都 大 学     | 15  | 國 立 大 学     | 1   | 近 畿 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 2   | 國 立 大 学     | 3   | 西 京 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 2   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 458 | 大 大 大 学 | 458 |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 1   | 國 立 大 学     | 2   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 1   | 國 立 大 学     | 2   | 立 志 大 学       | 3   | 大 大 大 学 | 3   |    |
| 京 都 大 学     | 1   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 138 | 國 立 大 学     | 21  | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 2   | 國 立 大 学     | 4   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 66  | 國 立 大 学     | 5   | 立 志 大 学       | 2   | 大 大 大 学 | 2   |    |
| 京 都 大 学     | 35  | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 13  | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学     | 1   | 立 志 大 学       | 1   | 大 大 大 学 | 1   |    |
| 京 都 大 学     | 3   | 國 立 大 学</   |     |               |     |         |     |    |



## レクダンスと私

高6回 四方田 伶子

六月に入って間もなく、「友の葉」にスポーツの事に関して寄稿して欲しいとの電話があり、一度は辞退しました。何故なら、私は過去に於いてスポーツに関しては結果を残すような成績があったわけではなかったからです。

その私が、六十歳を過ぎてレクダンス（レクリエーションダンス）を始めたのは、主人の死がきっかけでした。平成六年主人に急逝され、主人が一代で築き上げた医院を閉院し、残務整理も終わり、三人の子供も独立して離れていくと「これから私はどうなるの？」と家に閉じ籠もる日が続き、半年経った頃、中学高校から現在までつづいている親友の巻岐さんから、台原福祉センターで開かれていた発足間もない「台原レクダンス同好会」に入会するよう勧められたのです。「レクダンス」とは、流行のメロディー、民謡などに合わせて踊る創作ダンスで、踊って楽しみなが、健康作り、仲間作りをモットーにしている会です。毎年秋には仙台市富沢体育館で、仙台健康福祉事業団主催の発表会があり、皆それに向け張り切って練習しています。この会に

入って、外に出て大勢の人と会話したり、笑ったりして、その雰囲気の中に「このような世界があったのか」と初めて喜びを知り、月二回の練習だけでは物足りず、十年程前から「よさこい踊り」「奉納踊蘭会」の自称シニアの部にも入るようになりました。よさこいは六十代の人が多く、昨年傘寿を迎えた私はそろそろ引退を考えようと指導者の先生に申し出ましたが、「健康面だけでなく、転倒防止、脳の活性化にはボケ防止になるから続けるように」と説得されました。七月には「台原レクダンス同好会」が「永年の活動により生活文化の向上に功績を上げた」として「日本フオークダンス連盟」から表彰されました。「継続は力なり」と言いますがやはり続けることが大切と思いこれを力に、これから何年続けられるかわかりませんが、若い人たちがパワーを貰い、迷惑をかけないよう心がけながら挑戦しつづけていきたいと思っています。



柔々踊蘭会の仲間と

## 太極拳と私

高5回 佐藤 まき子  
(楊名時太極拳師範)

テレビや雑誌などで、空手着で太極拳をしているのをみたことがある方もいると思います。それが、私が三十年続けている「楊名時太極拳」です。

太極拳はゆっくりとした動きで筋力やバランス感覚を養い、腹式呼吸をすることで免疫力を高めるといわれています。

始めるきっかけとなったのは、主人が「腰にいい」と太極拳をはじめたことでした。平成元年に転勤で仙台に戻ったときにはスポーツクラブの家族会員になり、その時も「体に良さそうなのでやってみようかな」と軽い気持ちで始めました。

初めは、気が短い私がゆっくり動くことは難いと思いましたが、太極拳をした後は気持ちがいっしょりと落ち着く気がして、体



だけでなく心にも良いように感じられました。スポーツクラブでは曜日を選択できたことや、主人と二人三脚でしていたことも良かったのかもしれません。

約十年稽古を続けた頃に縁があって、主人と二人で太極拳教室を始めました。始めた頃は、一人の生徒に二人で教える日や、誰もこなくて私一人でお稽古をして帰ることもありました。その頃は主人も仕事で忙しくなり、私も管理栄養士の仕事を再開し、お互いに二足のわらじで今日まで来ました。

そのうちに、夜に教えてほしいと要望があり、二つめの教室ができ、その後は主人が福島と新潟に転勤になり、そのたび教室が増えました。

その間、南会津町からの依頼で、高齢化対策として太極拳を取り入れたいと月一回の教室を会津田島で始めることになり、今では生徒だった方が教室を開いて少しずつひろがりをもってきています。

多くの方との縁があり、何よりも楊名時太極拳の心を大事にする「同心協力」の精神で教室の皆さんに助けていただきながら、長い間続けることができました。八十代の方も何人もあり、元気に参加して、楽しんでます。皆で健康に楽しく年を重ねていきたいと思っています。

## テニスと私

高45回 西條 裕子

高校の部活でテニスを選択し、進学後から子育てが一段落つくまでは離れたものの、娘が一番小さいラケットを持てるようになってからは家族でテニスを楽しんでます。公共の屋外コートが使える四月十一月は週八時間、冬季は私設屋内で月二〜四時間程度の頻度でプレーするので自宅にストリングマシンを持ち四人分の張替えを済ませます。

テレビの有料チャンネルを契約しプロテニス観戦も欠かせません。モンテリオールに住んでいますので、全米大会の前哨戦となるロジャーズカップへ毎年足を運びます。放送されない小さなコートでプロの練習や試合を間近で見ることが楽しみです。コートとクラブハウス間を移動するプロを追いかけ、写真撮りやサインをお願いしたりできる嬉しい機会にも遭遇します。



元テニス部の仲間と



クルム伊達公子さん(右)と

娘が二年間所属した野球クラブで日本人は私だけでしたが、メジャーで活躍する日本人選手や、地元にあったプロチームに所属した日本でも活躍したクローマティ選手の話で盛り上がったことがあり、スポーツに国境なし、と実感しました。

私にとってテニスの魅力とは、「自分を知り、自分を律する」精神を得られることです。それは楽しくもあり苦しくもあるのですが、ボールを追いかけていると、挑戦、克服、挫折、爽快、達成が入り混じり、日常生活への良い刺激になっています。テニスは私の生涯スポーツです。子供達にもそうであって欲しいのですがどうやら難しそうです。

## ～オリンピック・パラリンピック開催の年に～

## スポーツから学ぶ

高67回 高橋 昂平

私にとってスポーツとはたかが趣味の一つにしか過ぎない。しかしながらわたしの高校生活を支えたのもこのスポーツであった。

幼い頃から父の影響でバスケットをやっていた私であったが、この宮城一高で陸上競技部に所属していた。何故陸上部？と思うかもしれないが、理由は単純である。男子バスケット部を作ることが出来なかったからだ。そんなこんなで高校にして初めて陸上部に足を踏み入れたわけだが、そこで様々なことを学ぶこととなった。陸上競技者はストイックで、食事の栄養バランスに気をつけている。常に最高のパフォーマンスができるように備えているのだ。努力すれば結果が付いてくるという言葉をよく耳にするが、実際のところ、結果を出すためにどういった努力をすればいいかわかり考え、



さて、ここまでで述べたようにスポーツは私たちに様々なことを教えてくれるわけだが、中にはスポーツ(部活)は勉強を妨げるものだとか考える人もいる。しかしその考えは浅はかだと思ふ。私自身三年の七月まで部活をしていたが、そのせいで勉強が疎かになっていたと感じたことは無かった。寧ろ、限られた時間でいかに効率の良い勉強が出来るかを考えたことで、自分に合う勉強法を早い段階に見つけることが出来た。

皆さんは今までに本気でスポーツに取り組んだことはあるだろうか。無いという人は一度でもいいから挑戦してみたい。普段生活しているだけでは学ぶことのできない大切なことに出会えるはずだ。皆さんにとってのスポーツが趣味から大切なものへと変化することを願っている。





# 各回だより



## 米寿を迎えて

本47回



となり修学旅行もありませんでした。そして四年生の秋には学徒動員令により半数が横須賀へ半数は仙台貯金局へと別れ別れになりました。

卒業七十年を迎えた私たちは今年八十八歳の米寿を迎えました。修学旅行に憧れていた私たちは子育てに余裕が出来た頃から「菱の実会」と名付けた修学旅行を楽しむようになり、日本各地を毎年旅しました。日光、明治村、伊勢志摩、北海道、沖縄、京都、奈良…。本当に楽しい旅行でした。還暦祝いの年はハワイへ、四十名ほどの参加がありました。翌年は十五名でローマ・パリ・ロンドンを巡りました。七十歳の古希を過ぎるまで旅行を続けました。その後高齢者になった頃終了しました。今年は久しぶりに歳の祝いを皆でとの声が上がリ、東京とその近郊の方たちがお世話役を引き受けて下さいました。

三月十六日、東京の丸ビル三十六階中華「七福」で仙台から九名、東京方面から十一名計二十名がしばらくぶりに顔を合わせる事が出来ました。何十年かぶりにアメリカから帰国した友を始め、それぞれ親を看取り、夫を介護し、髪は白く、杖をつくようになりま

した。耳も遠くなつて大声で昔話をしているうちに、いつしか一女生になっていた。でも私たちの一女はあの元寺小路の茂市ヶ坂の「一女」なのです。戦災で焼けてしまつて面影すら

残っていませんが、私たちの胸の奥にしっかりと刻み込まれているのです。次の歳の祝いの卒業まで、ご機嫌よう。またお会いしましょう。

（萱場 麗子）

佐藤 淑子

まんさくの今年の花の咲き初めて窓の向かうの林あかるしまどかなる月に誘はれ出づる庭ひかりは青くわれを包みぬやはらかな体となりて空を飛ぶ夢を見てをり夢と知りつつわが嘆き封じ込むるに適ふかなうせんかづらの緑ふくらむ待つものがあるとうたひし楓の丘恋ひて来りぬ若葉の季を

（高12回 旧姓・山田 仙台市在住）

## 五輪年の同期会

高25回

同窓会総会が行われた夜、高二十五回生の同期会が開催されました。同期生連絡用ブログも立ち上がり、会の運営情報が手に入れやすくなりました。感謝です。

会に先立って、この四年間に亡くなられた方々に黙祷を捧げました。

厳肅な空気に包まれた中、西村桂子さんのピアノ演奏とお話が始まりました。故

田島俊子先生が素晴らしい学問の世界を教えてくださいましたことに感謝し、追悼の意味を込めてのバツハの「フランス組曲」でした。続いてのシューマンも合わせ美しい音色に感動！演奏の後の登山のお話では、高山植物や美しい山の写真を織り交せてくださったの経験談を披露してくれました。手も足も使つて登るのが「登山」なのだそうですが、手が大事なピアニストなのにどうしても山に登りたくて続けているとのことでした。

の写真撮影を挟み、次は骨格プリントの衣装で登場した那波由美子さんの「ゆるゆるコッ骨若返り体操」です。那波さんは骨格を意識して自分を内側から観察する習慣を持つこと、背骨をうまく使えば動作パフォーマンスが上がることを説明しました。すると賑やかだった会場は一変して、各自真剣に取り組んでいました。一見元氣そうでも体の不調は忍び寄ってきているので、少しでも若々しくいたいと願う心はみんな一緒ですね。



今回の参加者は、総勢八十六名。卒業以来の参加者もいて懐かしい思い出話に花が咲きました。

次の開催は東京オリンピックの年です。体も心も若々しいまでの再会を誓って、リオ・デ・ジャネイロオリンピックの年の同期会は幕を閉じました。（我妻 謙子）

|               |         |
|---------------|---------|
| ・高7回          | 3月3日    |
| ・高10回         | 6月11日   |
| ・高16回         | 6月16日   |
| ・ホテルモントレ仙台    | 30名     |
| ・高18回         | 11月10日  |
| ・やすき          | 15名     |
| ・高20回         | 11月20日  |
| ・仙台ロイヤルパークホテル | 54名     |
| ・高23回         | 11月5・6日 |
| ・ホテル大観荘       | 50名     |
| ・高27回         | 5月21日   |
| ・仙台国際ホテル      | 107名    |



## 大盛況の同期会 再び！ 高35回

五十歳の節目を迎えた昨年夏、私たち高校三十五回生は同期会を開催しました。卒業してから三十三年。そんなに経ったのかという思いと、あの時と変わらないみんなの笑顔。時の経つのも忘れ、会話が弾み楽しいひと時を過ごしたことが思い出されます。その思いを胸に、今年は、同窓会総会後「アンジェリオン オ プラザ仙台」にて同期会を開催しました。遠くは滋賀県やアメリカからの参加があり、総勢七十二名という賑やかな会となりました。

「昨年よりも会場、イベントともにグレードアップしてお待ちしています」という案内が届き、ワクワクしながら当日を心待ちにしました。会が始まる前のロビーからおしゃべりは止まらず、懐かしい顔を見つけては「久しぶり」「変わってないねえ」の声飛び交うこと。心は高校生に戻り、女子トークが炸裂しました。



ました。ご冥福をお祈りします。その後、幹事の方が工夫を凝らし、「メイクアップで変身」のイベントを企画。代表者によるじゃんけん、そして見事勝ち抜いた方が、メイクアップの先生の力を借りて、美しく変身！みんなからの大喝采を浴びました。また、各テーブルでは、授業中のエピソード、蔵王での野外活動、五十肩の話など、思い出や近況と話は尽きません。高校時代には話をする事がなかった仲間でも、高校時代の思い出話に花が咲きました。最後はやはり校歌斉唱。元合唱部が中心となり、白いピアノの華麗な伴奏に乗せて全員で歌い、楽

しかった同期会は幕を閉じたのでした。

同期会を終えると、「みんなと会うとホッとするね」と口々に言います。気の置けない仲間ということもありますが、我々高校時代に培われた精神「自主自律」。自分らしく生きる、自分とは違う個性も尊重する姿勢が、同期会の中で感じられるからではないでしょうか。

同期会がいつも盛会なのは、快くみんなをまとめてくれている幹事の方々のおかげです。感謝しております。また近いうちに会いましょう！（齋藤 好美）

北から南から（敬称略）

- 表彰・受賞
- 小山喜三郎（客員）
  - 市政功労者表彰（仙台市）
  - 教育・文化功労
  - 渡部 和子（高9回）
  - 東北現代工芸美術展（七宝）
  - 現代工芸東北会会長賞
  - 二郷 恵子（高10回）
  - 瑞宝単光章
  - 松本 淑子（高10回）
  - 市政功労者表彰（仙台市）
  - 健康・福祉功労
  - 大泉 三保（高18回）
  - 東北現代工芸美術展（染織）
  - 東北現代工芸賞

- 表彰・受賞
- 奥山 和子（高18回）
  - 河北美術展（日本画）
  - 東北電力賞
  - 松田きみ子（高18回）
  - 河北書道展（少字）
  - 宮城県教育委員会教育長賞
  - 宮崎 礼子（高18回）
  - 河北書道展（近代詩文）
  - 委嘱作家特別賞
  - 安倍まゆみ（高18回）
  - 宮城県芸術祭（工芸）
  - 県教育委員会教育長特別賞
  - 川北 京子（高19回）
  - 河北工芸展（七宝）
  - 招待作家特別賞
  - 山田多香子（高22回）
  - 毎日書道展（漢字）
  - 毎日賞

- 表彰・受賞
- 西嶋 洋子（高27回）
  - 現代手織物クラフト公募展（着物）
  - 準グランプリ・駒ヶ根市長賞
  - 菅 英三子（高30回）
  - 文化の日表彰（宮城県）
  - 教育文化功労
  - 下田真奈美（高36回）
  - 宮城県芸術祭（書道）
  - 県芸術祭奨励賞
  - 日下 育子（高41回）
  - 宮城県芸術祭（彫刻）
  - 県芸術祭賞
  - 神林 由美（高52回）
  - 七宝賞（東北大学医学部研究奨励賞）

- 出版・個展・演奏会
- 原田 夏子（客員）
  - 『歌集 誰彼』
  - 『歌文集 木かげの揺れて』
  - 佐藤田山田淑子（高12回）
  - 歌集『ふうせんかづら』
  - 高橋あけみ（高32回）
  - 『大名家の婚礼と調度』
  - 仙台伊達家の場合 —
  - 大野 滋子（高16回）
  - 『大野滋子水彩画展』
  - 佐藤寿美子（高18回）
  - 油彩・水彩・陶芸作品展
  - 橋本 晴子（高25回）
  - 『橋本晴子ピアノリサイタル』
  - 高橋（海鋒）美由紀（高35回）
  - 『Ms Duo Recital (ピアノ)』



◎東西線の特徴

車両正面は伊達政宗公の兜の前立てを模した三日月のモチーフが斬新な、小型の車両。南北線に比べ、コンパクトな車両となりました。急勾配に強いリニアモーターカー式駆動を採用です。八木山動物公園駅から川内駅の区間は、先頭車両に乗って



宮城野通駅／アンパンマン  
ミュージアムの最寄り駅

また、どの駅にも、出入り口からプラットホームまで、エレベーターと上り・下りのエスカレーターが設置され、利用者に優しいつくりになっています。

西に太白山や仙台のビル群を望む、東の起点の荒井駅は、震災伝承の拠点「せんたい3・11メモリアル交流館」を併設。屋上広場には季節の花が植えられ、訪れた人に憩いの空間を提供しています。駅ビルには保育園も。荒井地域の住宅地整備とともに、今後、地域コミュニティの発展が期待されます。

「宮城の萩」の陶板を配した明るい構内が特徴的な薬師堂駅。「お薬師さん」と地域から親しまれる国の指定重要文化財である陸奥国分寺薬師堂境内では「お薬師さんの手作り市」がご縁日の毎月八日に開催され、多

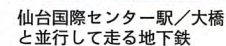
くの人で賑わいます。

路線バスが発着するロータリーは南小泉方面などからの乗り換えの起点となります。

仙台の老舗デパート藤崎に直結する地下鉄駅として誕生。東西線が、仙台の一番町商店街に乗り入れることで、ますます買い物が便利になりました。

青葉通一番町駅の南側のサンモール一番町商店街には、伊達政宗公築城の折に、町割りに使用された縄を奉納した野中神社があり、縁結びの神様としていまでも多くの参拝者が訪れます。東北大学片平キャンパスも歩いて十分のロケーションです。

宮城一高生の最寄り駅となる国際センター駅は、地

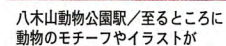


下鉄仙台駅からなんと乗車時間わずか四分。八幡の宮城一高までは徒歩でここから十分ほど。もちろん宮城一高生には嬉しい駐輪場も完備です。国際会議やコンベンションが多く開催される国際センターや東北大学萩ホール、仙台市博物館や宮城県美術館の最寄り駅でもあります。

駅の二階にはカフェも併設。仙台城址や広瀬川を眺めながら、「青葉の風テラス」で美味しいコーヒーをいただただ贅沢な時間が過ごせます。

01 八木山動物公園駅

八木山動物公園駅は、名前のとおり八木山動物園に直結する西の起点駅です。

[illegible]

市民で作った東西線番付表  
(資料提供/センダイ自由大学)

駅の最上階にある「てっぺん広場」からは太平洋を望むことができ、晴れた日にはフェリーや大型船が行き交う景色が楽しめます。この駅は青葉山の丘陵地帯を登り切った八木山にあることから標高百三十六・四メートルとなり、なんと地下鉄駅で高さ日本一となりました。この高さは、京都タワーと概ね同じですから、地下鉄の駅がそのような高さまであることに驚きますね。休日は多くの親子連れが訪れ、また大型駐車場であるパークアンドライドを利用して仙台の南エリアや名取方面からの通勤客が利用する駅となりました。

右も左も分らないまま携わらせていただいた編集委員でしたが、今は久しく遠ざかっていた心地よい充実感に包まれています。

この会報を通じて、同窓の絆の深まりを一人でも多くの同窓生に味わっていただけたら幸いです。

最後になりましたが、お忙しい中原稿をお寄せ下さいました皆様、ありがとうございます。

〈高25回〉

松岡 晶子 保理 尚子

片山ひろみ  
齋藤 好美

畑山 明美

高45回

新沼 幸枝 山田 知子

新沼 恵美 岡部美保子

小原 泉 沼口 有子

山田リツ子 東海林弘子

我妻 謙子 佐藤 響子

総会当番:高36・46・56回  
会報当番:高26・36・46回